

| | | | |
|--------|--------------|--------------------------|--------------|
| 日 刊 | JP新東京 | No.831 | 2012年3月1日(木) |
| | | 日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部 | |
| | | TEL 03-5606-6784 内線 4353 | |

日本郵政グループ労働組合

第2回宿泊分会代表者会議 一普分会より、9名が参加

2012年2月19日(日)～20日(月)の2日間、「第2回 宿泊分会代表者会議」が鬼怒川「ホテル三日月」にて開催され、2月23日(木)の日刊紙で会議全容の詳細を報告した。

当日、会場には、一普分会代表者として分会役員5名、組合員1名、そして執行役員3名の計9名が集まった。

一日目、13時の開会、下山支部長の挨拶から始まった代表者会議は、議事、課題についての議論や講義が白熱し、あっという間に一日が経過し、議事が終了した。

一普分会としては、翌日の職場の課題等の議事に備える為、一日目議事直後、宿泊大部屋に集まり、より多くの案を集約すべく、分会会議を開いた。その会議で出た案の中から、実際に二日目の議事で発表した意見を紹介するので、参照して頂きたい。

① ユースボランティア派遣の際の年齢制限の見直し

30歳以上は参加が出来ないので、年齢に関係なく参加出来る体制を是非作って欲しい。

② 受入ラインの導入による要因配置の懸念性及び作業の見直し

ケースラインを変える原因と利点は明確なのか、要員配置も適切に行えるかどうか、不安が募る。

③ ケースマット不足の対策

ケースマットが著しく不足しているが、どこ(支店など)で要因を引き起こしているのか、一普でも必要なので対策を。

④ 各支店ごとへの確実な表札徹底化

ケースラインを変えれば、表札のつけ間違えにより逼迫する恐れがあるので、無くすよう各支店ごとに伝達・徹底化を図って欲しい。

⑤ 黄パレの事故誘発の懸念性

現場で黄パレによる事故が多発しているので、使用する事を改めて改良案などを考察した上で、決定するべき。

分会会議後、懇親会に出席し、それぞれ出席者達は一普の輪だけでなく、積極的に他課の代表者とも接触を試み、職場の問題点や支部及び新東京支店の未来像を語り合った。

これからの一普の支部活動の有り方・意義、また職場での他課との連携・共助共援、様々なトピックスの基、更なる親睦を深める事ができ、一普の活動活力を鼓舞する有益な宿泊分会代表者会議となった。

心
ひとつに

J P 日本郵政グループ労働組合



絆

| | | | |
|--------|--------------|--------------------------|--------------|
| 日 刊 | JP新東京 | No.832 | 2012年3月2日(金) |
| | | 日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部 | |
| | | TEL 03-5606-6784 内線 4353 | |

2012 春季生活闘争・職場集会決議および はがき行動の展開等について

3月1日、東京地本より「2012 春季生活闘争・職場集会決議およびはがき行動の展開」について要請がありました。

主な内容としては

1、職場集会の開催・・・回答指定日(3月第3週)中央交渉の状況および郵政改革の動向等について、共通認識をはかるため職場集会を積み上げること。

2、職場集会決議の送付およびはがき行動の展開・・・中央交渉に全組合員の力を結集するため、職場集会決議の送付および全組合員によるはがき行動を展開すること・・・です。

項目2についての詳細は、ひとつとして各職場の実情にあわせたアレンジを加えた決議を集会参加者全員で確認し、会社へ送付すること。二つ目に、今後、全組合員へ春闘リーフレットを配布し、はがき行動への参加を要請することです。組合員は、自身の春闘要求実現に向けた思いを要請はがきに記載し所属会社CEOへ送付することをお願いします。

なお、送付する要請はがきは、春闘リーフレットに組み込んだものを活用するか、組合員が所有する郵便はがきでの送付も可とします。

【職場集会決議および要請はがきの送付先】

○職場集会決議

〒100-8798

東京都千代田区霞が関一丁目3番2号

○日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長 齋藤 次郎

イ 要請はがき

※住所はすべて上記と同じ

郵便事業株式会社 代表取締役社長 鍋倉 真一

3月16日に開催される執行委員会で職場集会決議を決定します。組合員の皆さんの意見を支部または分会役員までお知らせ下さい

FC新東京合同練習開催！大成功！！



○2月25日(土)

夢の島BUNBで新東京・麻布・高輪・晴海4支部合同でフットサル合同練習を開催しました。当日は日中雨天で開催も危ぶまれましたが、日頃の行いが良いせいか雨もやみ、絶好の練習日和となりました。スポーツを通して、初対面のみんなが笑顔でプレーできすばらし一時を過ごせました。

今回FC新東京はAチーム・Bチームに分け、麻布単独、晴海・高輪は合同チームの計4チームの総当たり戦。激闘の末、麻布チームが優勝しました。日頃、FC新東京では最年長T塚の得点シーンが見られる等思いで深い練習となりました。参加したメンバーの感想を聞いたところ「今回の練習的にも2時間とちょうど良く、他支部との交流も深まり、点数を付けるなら100点満点」・企画して本当に良かったと思いました。

◎第一輸送分会退職者送別会を開催します！！

定年退職を迎えるみなさん、また、雇用満了のみなさん、長い間、本当にお疲れさまでした。一輸送分会では、ささやかではありますがお別会を開催いたします。ぜひ参加をお願いします。

日時：2012年3月11日(日)
18:30～

場所：海鮮屋台あくまん木場店



日 刊
JP新東京

No.834

2012年
3月6日(火)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

2012JP労組中央本部 春季生活闘争スタートと要員施策

2月16日～17日 第9回中央委員会

日本経済は円高・株安・失業
者増大、震災などをはじめとす
る影響により経済停滞の中にあ
りますが、それに呼応するよう
に郵便事業会社の郵便物取扱数
は100億通を割り込み、会社
の存立さえ危うくしています。

2月16日～17日に開催さ
れた第9回中央委員会の決定を
受け、2012春闘がスタート
した。昨年の2011春闘は、
郵便事業会社の経営危機的状況
を判断し、組合員の雇用確保を
第一義に一時金年間3・0月と
いう苦渋の選択を決断して経済
的負担を強いた春闘となりました。
第9回中央委員会では、さ
まざまな議論のもと事業業績の
分析を深め組合員への適正な配
分として年間一時金3・5月要

求を決定しました。(報告は本
部機関紙を参照)

グループ一体性の確保や期間
雇用社員の処遇改善を要求して
交渉が図られています。年末始
の組合員のがんばりにより収益
は確保されているものの(東京
の年賀はがき販売全国1位)依
然として中間決算時220億の
損失に見られるように厳しい状
態が続いています。本部には粘
り強い交渉を求めるとともに、
それを支える支部活動の強化を
さらに進めていく決意です。

大変厳しい経済状況の中、3
月末の定年を迎えることになり
ますが、今年も団塊の世代が卒
業となり新東京支部内でも共済
など多くのひとの手続きが始ま
っています。そこで問題となる
ことは、各職場の要員不足…。

各種会議では各分会から多くの意見を聞くのはこうした要員不足と業務運行を心配する声です。適正な要員配置を求めることは労働組合として基本であると思う。現在、支部政策部を中心に組合として適正な要員配置のあり方について各職場の分析をしながら論議をすすめているところだ。この議論のベ

ースは事業会社の事業環境と2012年度(平成24年度)単年度黒字必達という避けて通れない課題を念頭においての議論が必要だと思う。また、会社とも胸襟をひらいた議論を実践していきたいと思う。

われわれの将来展望を切り開く2012春闘にしていこう！
日本郵政グループ労働組合
新東京支部 支部長 下山 薫

平和の母子像

「時忘れじの塔」記念式典

3月9日(金) 11時30分～

日時:2012年3月9日(金) 午前11時30分より

場所:上野公園いこいの広場内・清水観音堂脇

●あいさつ 海老名香葉子 林家三平 他

●参加者一同黙祷 ●その他 平和のイベント

お問い合わせ先:根岸三平堂

組合の動員ではありませんが、家族6人…親戚18人を一晩で失った海老名香葉子さん主催の東京大空襲犠牲者慰霊の集いです。お時間がありましたら、足をお運びください。屋外でとても寒いいため防寒具は忘れずに…。

2特分会(A)退職者送別会

3月25日(日) 18時20分～

東陽町ビスタホテル

日 刊

新東京

No.835

2012年
3月7日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

心ひとつに運動の前進を カンパ活動への協力を要請 新東京支部 執行委員会

東北三陸沿岸を震源とする大地震を発端とする東日本大震災からまもなく1年を迎えようとしています。大津波により沿岸地域の住民の多くの尊い命が失われ、いまだに多くの行方不明者が存在しています。J.P.労組組合員の中にも南三陸支部支部長など犠牲者をたぐさんだしてしまいました。日本郵政グループはこの大災害を記憶に残し亡くなった方を慰霊するた

め、3月2日に仙台市東北郵政研修センターにおいて慰霊碑を建立し合同慰霊祭を開催しました。J.P.労組も『心ひとつに運動』を活動の中心にして東日本大震災の復旧・復興への一助となるよう取り組みを展開しています。東京地本は南関東地本と共同で津波や福島第一原発で大きな被害を出した福島県相馬市と双葉町の地域であるJ.P.労組『相双支部』へのサ

ポート活動を取り組んでいます。新東京支部も震災発生直後から乾電池や衣料品など緊急支援助物資の発送や義援金カンパ、ボランティア派遣など組合員の協力のもと取り組んできました。カンパ金の集約については東京地本の中でも牽引役となつていることが報告されました。大震災発生から1年、地震の余震は続き、爆発した原子炉の中にある核燃料の状態さえわからず冷温停止もおぼつきません。仮設住宅などへの避難生活者も10万人以上にのぼり、組合員の中でも日常生活の回復にはいたっていない方がたくさんいます。『心ひとつにカンパ活動』としてJ.P.労組の大きな組織力を活かしたカンパ活動を震災から1年となる3月11日以降取り組みたいと思います。組合員、社員の皆様には度重なるお願いではありますがご協力よろしくお願いいたします。

19000人以上の被害者を出した「3・11東日本大震災」に関して集いや行進が各地で予定されています。紹介します。

●原発いらない！3.11福島県民大集会～守心して暮らせる福島県をとりもどそう～
会場：開成山球場(郡山市) JR「郡山駅」からバスで「郡山市役所」下車※
日時：3月11日(日)(福島) 開場：12:30～ 主催：福島県民集会実行委員会
13:00～オープニング加藤登紀子 14:00～県民大集会大江健三郎あいさつ

●3.11東日本大震災 市民の集い(10・11日両日開催 東京)
時間：11:00～19:00 場所：日比谷公園噴水前特別ステージ
主催：3.11東日本大震災 市民の集い
参加：坂本龍一 後藤正文 加藤登喜子 鎌田實(医師) 鳥越俊太郎 したぎ成
中沢新一(人類学者) 大地を守る会 さようなら原発1000万人アクション 他

●3.11原発ゼロへ！国会囲もうヒューマンチェーン(3/11(日)東京)
時間：16:00集合、16:30出発、17:00「人間の鎖」1回目、
17:45「人間の鎖」2回目 18:00～19:00首相官邸前アクション(要請書提出)
集合場所：社会文化会館(地下鉄「永田町駅4分」)
※人間の鎖、官邸前アクションから参加される方は、永田町駅か国会議事堂前駅から台流。呼びかけ：3・11再稼働反対！全国アクション 協力：首都圏反原発連合

●さようなら原発 板橋ウォーク 平和公園から大山公園へ(3/11(日)東京)
※高島平・成増・中山道に続く、板橋の脱原発デモ第4弾！
時間：13:00開始、13:50デモ出発 集合：板橋区平和公園(東上線「上板橋駅」)
主催：さようなら原発板橋ウォーク実行委員会 連絡先：090-3316-8253(岡本)

●3.11東京大行進-追悼と脱原発への誓いを新たに-(3/11(日)東京)
時間：14:00開始 14:46 黙祷 15:00デモ出発
集合：日比谷公園中幸門 主催：首都圏反原発連合
協力：3・11再稼働反対！全国アクション、さようなら原発1000万人アクション

●3.11「バイバイ原発アピールウォーク光が丘」(3/11(日)東京)
時間：10:30集合 集合場所：練馬区「光が丘区民センター」(地下鉄「光が丘駅」)
1時間程度の行進あり 主催：バイバイ原発アピールウォーク光が丘実行委員会

●3.11「さよなら原発練馬アクション旬間 ノー原発パレード」(3/11(日)東京)
時間：11:30～ 集合場所：練馬区立美術館の森(西武池袋線「中村橋駅」北口)
主催：核・原発のない未来をこどもたちに@練馬
※脱原発のシンボルカラー「黄色」のものを身につけてご参加ください
※思いをこめたプラカード、コスプレ、音のでるもの大歓迎

| | | |
|---------------------|------------------------|--------------|
| 日 刊 JP 新東京 | No. 836 | 2012年3月8日(木) |
| | 日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部 | |
| | 03-5606-6784 | 内線 4353 |

2012 JP労組東京地本 春季生活闘争本部の設置 と取り組みについて

東京地本は、2012春季生活闘争について、中央本部の指導に基づき3月1日に「地方春季生活闘争対策本部」を設置するとともに、取り組み方針と東京地本闘争体制を決定しました。

2012春季生活闘争は、とりまく内外の環境から、これまで以上に厳しいものと想定されますが、連合の仲間とともに東日本大震災によって被災した地域の復興・再生を成し遂げ、日本経済の早期持続的・安定的成長に回帰させる取り組みとしていかなければなりません。

また、郵便事業会社の債務超過を回避する単年度営業黒字の確実な達成が前提となるなどの厳しい環境の下、組合員の懸命な努力に報いる労働条件改善の実現とともに、今国会における「郵政法案」成立が車の両輪としての取り組みとなることから、全組合員の参加による要求実現に向けた力強い活動の展開が必要です。

具体的には、①賃金水準の改善を軸とした要求交渉の展開、②連合の春季生活闘争方針決定への積極的な参画、③各会社の経営状況を精査・分析したうえでの要求内容の決定、④非正規社員の処遇改善などです。

特に賃金水準の改善として、生活防衛の観点から正社員の「一時金3.5月」、月給制契約社員の「基本月額1万円引き上げ」、時給制契約社員の「時給単価30円引き上げ」をはじめ、「時間外割増率の改善」、「要員課題の改善」など、各要求項目の確保に向けた取り組みを第9回中央委員会で決定しました。

1. 基本方針

東京地本は、2012春季生活闘争の本部方針に基づき、①組合員の雇用と労働条件を守り事業の持続的発展をめざす取り組み、②賃金水準の改善、時間外割増率等の改善、要員課題、高齢者雇用2013年問題などを中心とする総合的な労働条件改善、③「郵政法案」の早期成立の取り組みと「みらい研」

加入拡大を中心とした政治基盤の確立など、組合員一丸とした闘いにします。

2. 具体的な展開

(1) 「地方春季生活闘争対策本部」の設置

ア 東京地方本部に「地方春季生活闘争対策本部（略称：地方闘争本部）」を設置し、地方執行委員会を「地方春季生活闘争対策本部会議」に切り替える。

イ 地方闘争本部体制には、本部長山内委員長、副本部長平野副委員長、事務局長小林書記長ほかです。

ウ 具体的な展開と指導體制について

具体的な取り組みについては、地方闘争本部の決定を受けて進めていくこととし、具体的指示は事務局長が行うものとする。

(2) 組織運動の展開

ア 地方春季生活闘争対策本部会議の開催

地方執行委員会を地方春季生活闘争対策本部会議に切り替え、情勢分析等を行うとともに、31,000人組織の早期達成や「みらい研」の会員拡大等、すべての取り組みを春季生活闘争の位置づけで展開していくものとする。

イ 総合情報等の扱い

「総合・交渉情報」を「地方春季生活闘争対策本部総合・交渉情報」として発出する。

ウ 地本主催「2012春季生活闘争総決起集会」の開催

春闘への組合員参加と運動の盛り上がりを図るため、以下により2012春季生活闘争決起集会を開催する。

2012春季生活闘争東京総決起集会の開催について

日 時 2012年3月13日(火) 18:30～

開催場所 御茶ノ水「全電通会館ホール」

エ 職場（対話）集会及び分会オルグの開催

回答指定日（3月第3週を想定）までに、全支部・分会において、春季生活闘争の情勢報告と「みらい研」加入強化月間の取り組みと連動した職場集会を支部・分会単位で開催し、組合員との意識統一を図ります。

また必要に応じて、支部・分会オルグを実施し、地本役員と支部・分会役員との意識統一を図り、分会体制確立・強化の推進を図ります。

オ 広報体制の確立

機関紙「Jump up Tokyo」に關係記事を掲載するほか、ポスターを発行し組合員および家族への情報提供を図る。

(3) 連合運動との連携

連合等が開催する集会、署名活動等に積極的に参加する。

2011年度期間雇用者員の正社員登用について

2011年度の期間雇用社員(時給制・月給制契約社員)から正社員登用については、本年6月1日(金)の登用実施にむけて、現在、二次審査の選考作業が行われています。

選考の進捗状況について、情報提供がありましたので周知します。
 なお、今後の実施スケジュールは以下のとおりとなっています。

平成24年4月末頃 : 二次審査可否通知
 平成24年6月1日(金) : 正社員登用

| 会社名 | 時給制契約社員 | | 月給制契約社員 | 二次審査 受験者数 ②+③ |
|------------|-----------|-------------------|-----------|---------------------|
| | 出願者数 ① | 一次審査 合格者数 ② | 出願者数 ③ | |
| 日本郵政(株) | 27人 | 5人 | 4人 | 9人 |
| 郵便事業(株) | 16,478人 | 1,500人 | 2,241人 | 3,741人 |
| 郵便局(株) | 1,019人 | 154人 | 1,262人 | 1,416人 |
| (株)ゆうちょ銀行 | 342人 | 28人 | 113人 | 141人 |
| (株)かんぽ生命保険 | 186人 | 33人 | 75人 | 108人 |
| 5社計 | 18,052人 | 1,720人 | 3,695人 | 5,415人 |

※次審査合格者は現在選考中。

※給制契約社員は一次審査(適性検査)を免除。時給制契約社員には、短時間社員を含む。

本部は引き続き、2012春闘要求にも掲げているとおり、2012年度の正社員登用についても着実な実施を求め、取り組みを強化していくこととしています。

以上

「東方社写真部が記録した アメリカ軍の無差別爆撃」 場所・東京大空襲・戦災資料センター 江東区北砂 ～4月8日(日)まで

東方社は陸軍参謀本部の下で1941年に設立され、対外宣伝雑誌『フロント』などを編集・発行していました。大切に保存されてきたネガフィルム約1万7000点が、昨年、東京大空襲・戦災資料センターに寄贈されました。

東京大空襲・戦災資料センター開館10周年記念特別展として、67年間にわたって秘蔵されてきた500点以上の東方社撮影空襲写真の全貌を紹介すると共に、主要写真を初公開するものです。これらの写真には日本医科大学、慶応義塾大学、上智大学、雙葉学園、高井戸第四国民学校、根津神社、泉岳寺、京橋・銀座・有楽町・日比谷の繁華街、荻窪陸橋、海軍館、工場、民家など、1944年11月から約半年にわたる東京への空襲の被害、復旧作業の様子、焼け跡での生活ぶりが撮影されています。また、中国の香港・桂林における日本軍占領下でのアメリカ軍の空襲による被害写真も含まれています。また東方社撮影空襲写真と日本写真公社国防写真隊写真との比較・対照もあわせて紹介しています。

東方社撮影空襲写真をとおして、アメリカ軍の無差別爆撃の被害の実相をより具体的に知り、戦争の悲惨さを考えていきましょう。

朗読劇「死んでもブレストを」

場所・曳舟文化センター3月24日(土)

午前の部11時00分／午後の部14時00分

【あらすじ】 一九四五年三月九日の夜、「死んでもブレストをはずすな」の上司の訓示を受け、「お国のために」と通信業務を務めた墨田電話局の電話交換手たち。娘たち二十八人は電話局とともに燃え尽きた。焼け跡に残されたガマロの金具で人数が確認された。平均年齢十七・八歳。なかには十五歳の娘もいた。一夜で十万人もの人が焼き殺された残虐な無差別爆撃。その中の娘たちの悲劇から、平和とは何かを問いかける。

原作：作家・早乙女勝元 成功協力券：2000円

問い合わせ…TEL：03-5857-5631(東京大空襲・戦災資料センター)

2012 春季生活闘争要求交渉
第二次回答で具体的な額が示されるが労使の主張に隔たり
＝正社員一時金・夏期分1.5月、年末分別途＝
＝月給制契約社員のベア1,000円＝

12日、先週に引続き準トップ交渉を行いました。その中でグループ各社は、JP労組に対し、具体的な数値を含めた第二次回答を示してきました。

JP労組が要求する、正社員の一時金年間3.5月や期間雇用社員の処遇改善などの要求に対し各社は、「①夏期手当分のみ『1.5月』を設定し、年末手当は、中間決算の状況を踏まえ、別途、交渉とする。②月給制契約社員の基本賃金は『1,000円のベア』とする。③他の要求項目については、現行どおりとする。」というものであり、組合要求からかけ離れた内容であったことから「到底納得できるものではなく再度検討を要請する。」として、会社に再考を迫り、本日の交渉を打ち切りました。

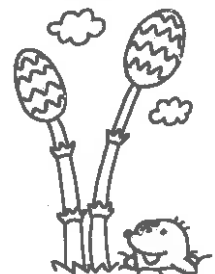
1. 先週6日の第一次回答から、交渉推進を図るべく準トップ・実務レベル交渉に移行させ精力的に交渉を展開してきましたが、本日臨んだ、準トップ交渉でも、本部は「昨年から大幅削減となっている正社員の一時金の早期回復は、今後の組合員のモチベーションを大きく左右するものであり、郵政グループの事業の危機的状況乗り越えるための原動力は『人』であること、組合員の意欲・活力を引き出すためにも『人への投資』が必要である。」と重ねて訴えてきたところです。
2. しかしながら、各社経営陣は「この間の組合主張は十分に各社とも受け止めつつ真摯に社内で議論してきた。郵便事業会社は平成24年度の営業黒字必達は、至上命題であることは申し上げたとおりである。重ねて申し上げるが、一時金について、今段階で年間分を示すことは、収益やコストについて想定できない変動要素（例えば、電気料金の値上げやガソリンの高騰などの経済情勢の変動）から、計画を大幅に下回った場合、平成24年度の営業赤字を回避するための再提案の事態もあり得ることから、それは避けたい。また、額についても郵便事業の危機はグル

ープ全体で受け止め乗り越える必要があることから、夏期分のみ1. 5月とし、年末分は、中間決算を踏まえて、別途交渉としたい。これ以上の回答は、困難である。」また、「月給制契約社員のベア実施については、厳しい経営状況の下であるが、人材確保の観点からギリギリの検討をした結果として1,000円の引き上げとしたい。」として、本日の第二次回答に至った経緯について説明をしてきました。

3. これに対し、本部は「労使は、交渉の平行線をいち早く切り上げ、事業の危機を乗り越え、未来に向けて協力して進まなければならないこの時期に、いまだ各社経営陣は、事業業績の下振れリスクへの対応のみを最優先であると主張し、今なお、組合員の期待に応えていない極めて不満な回答内容である。」と第一声、厳しく申し入れました。

その上でさらに「業績拡大に臨もうとするならば、組合員の大幅な年収の減少をできるだけ早く回復をさせていくという経営側の姿勢と社員に対する力強いメッセージなくしては、あり得ない。」また、「月給制契約社員のベアについて、具体的な額が示されたが、1,000円のベアでは特例措置を解消できる水準にはならない。今回の二次回答において、一部有額回答が示されたが、その他の要求への回答を含めて再検討を求める。」とともに、「本春闘は単に賃金改善ではなく、労働時間の適正化や労働環境の質的な向上に一步でも前進させることも重要課題として位置づけており、現実的な改善を求める。」と強く再考を申し入れ、本日の交渉を打ち切りました。

交渉後、本部は、中央闘争本部の対策会議を開催し、臼杵対策本部長は「3月6日の第一次回答を受けて以降、この間、断続的に準トップ交渉・実務レベル交渉を経てもなお、労使の主張に大きな隔たりがある。現時点での回答では、到底受け入れられないものであり、会社側の姿勢を転換させるために断固たる決意を持って臨む。生産性向上や事業の効率化に向けて懸命に取り組む組合員へのメッセージとなる経営判断を最後の最後まで強く求めていく。」として、今週15日(回答指定日)の最大のヤマ場に向けた強い決意と態勢固めを改めて全中央闘争本部メンバーで確認したところです。



退協主催「忘れてはならない東京大空襲」 千羽鶴を慰霊堂に奉納 退職者120名・現役50名が参加

3月10日郵政退協主催「忘れてはならない東京大空襲」2012平和集会在墨田区横網公園にある東京慰霊堂で開催されました。

新東京支部の「心ひとつに運動」でもある平和を願う東京大空襲の犠牲者に祈りを捧げつつ一羽の鶴を折ってもらった折り鶴を千羽鶴にして持って行きました。
冷たい雨が降るなか、新東京支部

から21名、総勢170名が参加しました。

退協の幹事の方が用意してくれた花を一人一人が献花台に献花し、お線香のけむりがもくもくと立ち上る中、雨でぬかるんでいるため静かに慰霊堂にすすんでいく。

東京慰霊堂はお寺のような外観ではあるが、関東大震災犠牲者の慰霊施設として、東京都がつくったもの

です。教会のようなその建物の中には、右に関東大震災の大きな絵、左には石川光陽氏の大きな写真パネルが掛かっています。正面にはたくさんのお花があり10万人以上が亡くなった犠牲者への鎮魂と戦争のない平和な世界にするため祈りを捧げました。慰霊堂の裏に移動し、500人分程度の遺骨が入っているといわれる大きな骨壺がずらりと並んだ納骨堂を見ました。この納骨堂は、年に2度しか扉が開かないところなのですが、あまりにもたくさんある骨壺に恐ろしさを感じました。施設関係者に申し出て3つの千羽鶴(支部作成1・個人作成2)を慰霊堂に奉納しました。(写真を食堂横の掲示板に掲載してあります、ご覧下さい)

集会場へ移動し、平和集會に参加しました。司会から、「太平洋戦争当時、空襲は東京だけではなく日本中どこでも爆弾は落とされました。

3月10日だけじゃないんだとみんなに覚えてもらいたい」「今日見てきたように関東大震災犠牲者・東京大空襲犠牲者、そして3・11東日本大震災犠牲者に対して黙祷しましょう」と全員で黙祷しました。

退協東京会長の畑中正直さんから「東部の現役の人にご協力頂いて今日の集会ができましたお礼を申し上げます。災害は自然災害と人災があります。ひとがそれをやったときは許せない。戦争当時、情報は大本営発表以外封じられていた。今になってようやく若い人に伝えられるようになった。まず、記録することが大切、つぎに原因を突き止めなければならぬし責任追及もしていかなければならない。そのときはやむを得なかった…とならないようにするためにしっかりと物事を把握していつてもらいたい」と主催者代表の挨拶がありました。

東京大空襲被害者連絡協議会の高橋明子さんに「私の東京大空襲」と題し空襲体験談を語ってもらいました。高橋さんは城東区（現江東区）大島に住んでいて空襲で両親と兄弟3人を亡くし天涯孤独の戦争孤児となり戦後を生き抜いてきました。「家族が写った一枚の写真にどれほど支えられたかわからない。もう二度と戦争はしてはいけぬ」と強く熱く話していました。「集会参加者によるトーク」が始まり12〜3人から「校庭は畑になりました。バツタインゴもわからず動いているものは食べた」「日本は戦争に負けないと思っていた。教育の恐ろしさを強く感じました」「組合役員をやっていたが60才まで戦争体験を話したことがなかった。若い人がまた次の人に伝えてほしい」「戦争絶対反対死ぬのはいやだ」と自分詩を書いた「空襲の損害は軽微なり…といつもいわれていた

が原発事故でも同じようだ。政府・軍部・報道機関は反対する勢力を叩きつぶし突き進んでいった。原発再開や教育の問題

（大阪府知事）を考えていこう」と話がありました。

言論統制のあった戦争当時から学び、今に繋がっている社会に安心安全に生活できるよう戦争反対へとつなげて欲しいという郵政退職者の方の声を受け止めてこれからも様々なことを議論していきたいと思いた。

千羽鶴作成にご協力頂きありがとうございました。うございました。



日刊
新東京

No. 843

2012年
3月19日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

眞の再生は春から始まる

三月十日、降りしきる冷たい雨の中、都慰霊堂において郵政退協主催の「忘れてはならない東京大空襲・東京平和集会」に新東京支部も二十一名が参加した。

六十七年前、下町一帯に米軍機が落とした無数の焼夷弾は、十万人もの一般市民の命を奪い去った。犠牲者の冥福を祈り、短冊に平和の願いを込めて、去年同様に慰霊堂へ千羽鶴を奉納することができた。

場所を集会会場へと移し、

東京大空襲で両親と兄弟三人を亡くし、戦争孤児とな

った女性の体験談を拝聴した。いつの時代でも国策で苦しむのは私たち市民である。戦争反対の声を途絶えさせることのないように、次代に受け継いでいく必要がある。

翌十一日は、東日本大震災からちょうど一年。死者一万五千八百人を超え、行方不明者は依然三千百五十人を超えている。さらに原発事故が被害を拡大させ、三十四万人が避難生活を余儀なくされている。政府は収束

宣言をしたものの、建屋内の状態さえ完全に把握できず、核燃料を冷やすことしかできないでいる。原発から二〇キロ以内は立ち入ることも除染もできず、被災各地の瓦礫処理も思うようにはかどっていない。被災地の人たちはこの一年、マイナスからのスタートを強いられてきて、今日に至っている。

この十一日は、各地で脱原発集会やデモが行われた。国会前には一万人の人々が人間の鎖で取り囲み、脱原発を訴えた。

「原発はいらない」とシュプレヒコールをあげたのは日本だけではない。台湾、ドイツ、フランス、イギリスでも脱原発のろしが上がった。

私たちはこの悲劇を忘れることなく、被災地の仲間へ寄り添

い、震災や原発事故からの復旧・復興に向け、心ひとつに運動等の諸活動に全力をあげることをみんなで誓い合いたい。

十三日は全電通会館ホールにて2012春季生活闘争東京総決起集会があった。まさに春闘が大詰めを迎えつつある中での総決起集会となり、会場は満席。

私たちは、真に組合員の幸せの実現に向けて「心ひとつ」に最後まで戦い抜くことを決議したのだが・。

郵便事業会社は、債務超過を回避するための単年度営業黒字に向け昨年水準をベースとした事業計画を策定しており、厳しい労使交渉になることは想定されていた。結果、紙面の関係上ざっぱくではあるが、定期昇給は完全実施。一時金については

年間3、0月(夏期1、5・年末1、5月)+特別手当(仮称)の検討。月給制契約社員の基本月額については二千万円の引き上げとする。時給制契約社員の時間給制度のあり方については継続協議・、という到達点で妥結した。

あの東日本大震災から一年を振り返れば、原発事故、台風被害と日本列島が災害に見舞われ続け、今なお災厄は続いている。

事業に目を向ければ郵便事業の危機的経営状況、一時金の大幅な削減、聖域なき議論・改革による郵便再生の取り組み等、身を削る一年だったといえる。

この状況を打破するためにも組織拡大は急務といえる。東京で開催される第5回定期全国大会まで3ヶ月となった。

3月末の退職、郵便事業会社は新規採用なしという組織拡大の要素が限られた厳しい取り組みとなるが、東京地本は3万1千人組織達成の成果をもって全国の仲間を迎えると第9回中央委員会で決意表明している。みらい研の加入の取り組みと併せ、仲間を増やす取り組みをしていきたい。

一方で郵政改革の取り組みも山場を迎えている。震災で被災された地域において避難所に行き、郵便物を届けても、貯金をおろすことも簡保の手続きもできない状況にある。分社化の口をなくし、ユニバーサルサービスとの確保を前提に、経営の自由度を上げる郵政改革法案の早期成立に向けて戦いを展開していくことがJP労組の使命だ。

日
刊

JP新東京

No.844

2012年 3月 21日(水)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

2012春季生活闘争要求交渉

【妥結・整理】

年間一時金3.0月、月給制契約社員のペア2千円で妥結
=連日の準トップ交渉により3.0月を確保
年度末に「特別手当(仮称)」を検討=

【賃金水準】

○定期昇給

完全実施

○一時金

正社員

3.0月 (前年比±0月)

内訳：夏期1.5月+年末1.5月

高齢再雇用社員

1.57月 (前年比±0月)

内訳：夏期0.78月+年末0.79月

短時間社員

1.8月 (前年比±0月)

内訳：夏期0.9月+年末0.9月

エキスパート契約社員

3.0月 (前年比±0月)

(医療機関等を除く)

内訳：夏期1.5月+年末1.5月

○月給制契約社員の基本月額

2,000円引き上げ

○時給制契約社員の時間給

制度のあり方について継続協議

【時間外割増率】

| | |
|--------|--|
| ○時間外労働 | 100分の25 (現行どおり) 「2カ月81時間超」及び「年間360時間超」100分の30、「月60時間超」 100分の50 (現行どおり) |
| ○休日労働 | 100分の35 (現行どおり) |
| ○深夜労働 | 100分の25 (現行どおり) |

【要員課題】

- 月給制契約社員から正社員登用
引き続き実施する (具体的な時期等別途)
- 時給制契約社員から月給制契約社員登用
引き続き実施する (具体的な時期等別途)

【高齢者雇用】

- 65歳までの継続雇用
改正法案の内容等を見つつ必要な措置について検討を進める
- 「定年延長」に向けた議論を開始
政府における論議、世の中の動向等を見た上で、定年延長に関する諸課題を労使で議論を開始

以 上

| | | |
|---------------------|------------------------|----------------|
| 日 刊 JP 新東京 | No. 845 | 2012年 3月22日(木) |
| | 日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部 | |
| | 03-5606-6784 | 内線 4353 |

ゆうパックを利用して検体を 送付する場合の包装に関する 遵守事項について

郵便事業会社は本部に対し、ゆうパックを利用して検体を送付する場合の包装に関する遵守事項について、昨年10月18日、茨城県衛生研究所差出の病原体検体の容器が水戸支店の保冷施設内にて破裂、内容物が漏出・拡散する事故が発生し、原因については、当該研究所において知識のない作業員が「密閉容器」にドライアイスを混入したことでした。幸いにも人的被害はなかったものの、付近の荷物の損傷、保冷施設内の汚損等の被害が生じることとなりました。

会社側は事態を重く受け止め、同月27日所管の厚生労働省に対し、文書により、嚴重に抗議するとともに、検体を内容とする荷物について「包装外に絶対に漏れることのないような対策」を含めた、徹底した事故防止対策を要求しました。これを受けて、翌11月同省により、全国の衛生研究所等に対して、密閉容器内にドライアイスを入れないこと等当面の注意喚起がなされたものの、到底十分な対策とは言えなかったため、その後も、同省とともにハード面及びソフト面の抜本的な事故防止対策の検討と協議を重ねてきました。

今後、ゆうパックを利用して検体を送付する場合には、必ず、「ジュラルミンケース」に入れることを要すること、送付機関の「包装責任者」が安全性を確認し、そのことを自らの名により表示すること、などを内容とする『ゆうパックを利用して検体を送付する場合の包装に関する遵守事項』を取りまとめ、同省の通達により、検体をゆうパックにより送付する全ての研究所等に対して周知徹底し、遺漏なく対策事項を遵守させることとしました。このことにより、同省からの通達によって、遅くとも本年5月31日までに全ての機関において対策事項が実施されることとなったものです。

遵守事項の主な内容については、以下のとおりです。(詳細は別紙)

- (1) 検体包装の基本原則の明記
- (2) 検体包装に使用する容器の4重包装化
- (3) 包装責任者の選定と検体送付時の安全包装確認・表示
- (4) ゆうパック差出時JPからの事前通告なしの開披要求への応諾

本部としては、事象発生時において、非常に危険であり組合員の労働安全に大きく関わる問題であることから、会社に対し、検体を取り扱う厚生労働省を通じて関係研究所等に、万全の上にも万全を期す対応を行うよう強く求めたところです。

会社からは、二度とこういった事象が発生しないよう、上記の遵守事項を厳守させるとともに、社員への周知徹底を図るとの考えが示されました。

支部レク開催決定

牛久シャトーカミヤ

(茨城県牛久市)

2012年4月8日(日) 12時半スタート

会費:大人2000円・中学生以上1000円

支部でバスをチャーターします

新東京前か東陽町で乗車してください

○新東京9時00分集合(9時30分出発)

○東陽町9時20分集合(9時40分出発)

車・電車等での現地集合も可能です

詳しくは組合役員まで…



定年を迎えるにあたって

日刊

新東京

No. 8 4 6

2012年
3月23日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

1973年、中途採用で東京北部小包局に入局。あれから38年5ヶ月が経過した。光陰矢の如しである。

北部局は山谷の一面に位置していたが、入局当初、南千住駅から局までの道中はハラハラドキドキの日々であった。先輩たちは、山谷の住人に混じっ

て立ち飲み屋で平気な顔をして飲んでいた。

現在の南千住は一変して、昔の面影は無く、マンションが林立している。

当時は、地方は鉄道輸送、都内、近県は自動車輸送で行っていた。

今のような輸送容器（パレット）ではなく、郵袋に締め切つて差し立てをしていた。

郵袋作成作業を中腰で行うため、腰痛症になる人が非常に多かった。また、ベルトコンベアに流れてくる郵袋を区分する過程でも腰痛になった。

当時「腰痛症は職業病である」との観点から「職業病対策委員会」を中心に取り組みが行われていた。

青年部では「加害者になるな」ということで重い郵袋を作らない「郵袋重量制限」の運動が、南、北、晴海、大阪の4集中局で取り組まれた。

確か、一個の郵袋重量を6kgにする運動だった様な気がする。時は移り、輸送容器がパレットになった。

ゆうパックの重量も、何と30kg!になっている。

供給者、積み込む人、取注区分、みんな腰を痛めているのではないか。時々、コルセットをして作業している人を見かける。そして、その作業は殆ど期間雇用社員が担っている。

しかし、組合的には何も取り組まれていない。今後の課題であると思う。

73、74年頃までは、春闘でも大幅賃上げを勝ち取っていた。その後は、日経連、経団連の反撃にあい、現在に至っている。

郵政でも、去年は経営赤字の名の下に、一時金が1、3ヶ月！も減額され、今年も同じ結果に甘んじている。

昔から小包（ゆうパック）は民間宅配便との競争状態があった。

その結果、小包減で要員減。制度政策も民間の後追い施策。満を持して取り組んだ日通との統合。現場では『時期的に無理があるので再考を』と主張してきた。結果は『ゆうパックパ

ニック』となって大失敗。その後の経営責任も明らかになっ
ていない。そして赤字を理由に賃
下げ！他の民間企業では『郵政
でもボーナスカットなんだから』
と波及しているという。

「頑張ったものが報われる」
らしい「人事給与制度」の導入
も目論まれている。

『今の評価制度で賃金に差が
ついている。評価のあり方に疑
問がある』との期間雇用社員の
声無き声も聞こえる。

昔は「地獄の16勤」といわ
れ「定年満コロ」（定年後に亡く
なる人）が多かった。そこで「定
年まで安心して働ける職場にし
よう」と労働条件改善に取り組
んできた。

しかし、16勤よりも最悪の
深夜勤が導入されてしまった。

（当時、業対部長で交渉）

その後、深夜勤の改善は殆ど
なされていない。一年中深夜勤
の期間雇用社員はどつなる。

入局2年目で青年部役員にな
り、その後は分会役員、執行委
員等々を経験してきた。『職場実
態を掴み、組合員の声に耳を傾
ける』を信条にしてきたが、果
たしてどれだけ出来たのか反省
しきりである。

先般の支部委員会では若い組
合員の発言が多かったと聞く。

「未来は若者のもの」である。
退職とはいえ、あと5年再雇
用。老力で組合にも協力してい
きたいと考えている。

前後不覚。徒然なるがままに
書かせて頂きました。

（投稿）

第7回執行委員会を開催

組織拡大行動の取組と みらい研の加入拡大

3月16日、5F研において
第7回執行委員会を開催しまし
た。

下山支部長より「昨日、15
日に2012春闘が一時金3・
0月で妥結した。これ以上の交
渉はできないですが、特別手当
(仮称)の獲得などを注視して

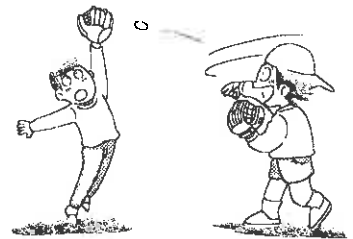
いきましよう。今日は地本執行
委員も来てくれていきますので活
発な議論をお願いします。短い
時間ですが、よろしく願いまし
ます」とあいさつがありました。
書記長の進行で「まず第一に
今年は全国大会が東京で開催さ
れます、組合の力を発揮するた

めに必要不可欠な組織
の強化をしていきまし
よう」：との話をうけ
て、①組織拡大行動の
取組、②政治組織であ
るみらい研の加入拡大
について状況の報告が
あり、どちらも加入拡
大が進んでいるがまだ
まだがんばってくれと
激を受けた、③郵便再
生バージョン2につい
てさらに検討を深めて
いくこと、④政策部業
務対策会議の報告があ
り、3月末以降はこの職場も
必要要件問題があること、ある
課では、毎年のように再雇用者
を引張っていたのに「課の予
算が膨らんでしまう」という理

2012春レク「牛久シャトーカミヤ」4月8日(日)

バーベキューレク 申し込みはお早めに…

由で今年はいらないと言いついていいる。現在でも不結束を出しているにもかかわらず、現場の声を無視した対応だ、支店全体を考えていない管理者がいる、などの話が出ました、⑤男女共同参画部から女性が気楽に話せる場を作ろうという「ガールズルームN新東京」企画について最終的な打ち合わせをして、4月10日〜12日がいいのではないかとまりましたが、決定次第別途お知らせいたします、⑥企画教育部から4月8日（日）の春しく「牛久シャトーカミヤ」バーベキューレクについて参加者集約が再度求められました。会費は大人



2000円・子供（中学生以上）1000円となりました。申込は各分会の役員まで。新東京発のバスの手配がありますのでお早めに申し込みください、⑦新東京支部野球部がよいよ活動を開始します。4月26日（木）10時〜2時間程度の初練習を行います、場所は「夢の島グラウンド」です。部員も同時に募集していますので軽く汗を流したい人は新生「野球部」に来たれ！公式初試合は5月23日（水）「中央連協野球大会」です。応援もよろしくお願いします、…などなど話し合い執行部内の意思疎通を図りつつ具体的に取組を決定しました。

書損はがき募集中！
書損はがきを回収して寄付へ

総合共済に入ろう 加入募集中

共済の基本中の基本、助け合いの原点「総合共済」にまだ加入していない人は、今すぐ加入しよう。

日本全国の働く仲間が掛金を出し合って、結婚、出産、小学校入学祝いなどのお祝い事も、住宅災害や死亡などの不幸なことも、幅広く支払う総合共済…。慶弔見舞金制度です。

掛金は毎月750円で安心・安全に働き暮らしていくことのできる共済です。未加入の方は要検討ですよ！

詳しくは組合役員まで…

日
刊

JP新東京

No.850

2012年3月29日(木)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

郵便再生ビジョン・バージョン2 ～発出に於ける提起と回答～

郵便再生に向けた「特別労使協議会」に於いて、議論を積み上げてきた「郵便再生ビジョン・バージョン2」について、その内容と取り扱いに共通認識が図れた事により、JP労組本部は、組合員から寄せられた「ビジョン・バージョン1」に対する意見に基づき、聖域なき議論を展開。「ビジョン・バージョン2」の取りまとめ及び郵便再生に向けた当面の課題として、次の4点を提起、見解を明らかにしたので紙面にて紹介する。

<JP労組からの4つの提起>

① 販売管理費の大幅削減に向けた施策の実現

現場での経費削減のみならず、本社をはじめ販売管理費に反映するような経費をいかに大胆にカットできるかの提示。

② 大幅な権限委譲、権限と組織関係の整理

権限委譲を大胆に進めるとともに、それに伴って本社、支社及び支店の組織がどう変わるのか、道筋や検討内容の明示。

③ 職場風土改革と仕事のやり方の見直しの早期実現

既に示されている施策に留まらず、実効の上がる職場風土改革及び社員の目に見える仕事のやり方の見直しの検討を加速させ、社員が変わったと実感できる方法論の提示。

④ エキスパート社員の削減

昨春に労使確認を行った管理者エキスパート社員の削減について、取組み状況を提示すると共に、今後の必要性や処遇のあり方等の明示。

<JP労組からの4つの提起に対する回答>

① 販売管理費の大幅削減に向けた施策の実現

□ 損益管理等の責任体制を明確にし、大幅な権限委譲を進める中で、組織のあり方や責任体制を見直していく必要がある。

□ 平成24年度に実現出来るものとして、真に必要な経費への絞込みの他、本社社員やエキスパート社員の削減を図る。

○ 本社社員の削減

平成24年度は本社社員100名程度の支社や統括支店等へ異動を行う事で販売管理費及び玉突きによる支店人件費(賃金)について、約2億円(約70人)の削減を見込んでいる。尚、

本社社員は5カ年で半減を目指す。

○エキスパート社員の削減

エキスパート社員の雇用者数は、現雇用者数と平成23年度末の支店長定年退職者数の合計約600人の半数の300人以下とし、残り300人程度は高齢再雇用社員として雇用し、支店の計画・共通事務や電話対応等の実務を行う事で、販売管理費及び玉突きによる支店人件費(賃金)について、約5億円(約200人)の削減を見込んでいる。

○その他の経費の削減

本社・支社の経費等を含むその他の経費については、平成24年度の事業計画において、対前年比△138億円の削減を見込み思索中である。

② 大幅な権限委譲、権限と組織関係の整理

- ① 支店等への大幅な権限委譲を推進していくには、損益管理等の責任体制の確立や効果的に運用できる人材の育成が必要不可欠である。
- ② 平成24年度は、損益を軸とした経営管理の浸透や支店管理者等の人材育成に向けて取り組む他、支社別損益を業績評価の対象とする事により、支社別損益目標達成の為の権限委譲等を試行的に行う事が出来る仕組みを検討中である。
- ③ これに伴い、各支社に於いては、地域性や市場性等を勘案し、例えば、収益性が高いエリアでの増収の為の投資が可能となる等、各支社の事情に応じた権限委譲を支社独自の工夫により行う事が可能となる。

③ 職場風土改革と仕事のやり方の見直しの早期実現

- ① 郵便再生の実現に必要な支店社員が働きやすい職場作りの為、職場風土改革や仕事のやり方の見直しについての検討を加速化させる必要性がある。
- ② その第一段階として、職場風土改革と仕事のやり方の見直しに於ける、より効果的・生産的な取組みについて、今後とも意見交換を行いながら検討していきたい。
- ③ 4月から実施予定の取組みは以下の通り。

○文書・報告類の削減

支店への指示文書等を削減する為、現在、各支社と意見交換をし、指示文書等の発出ルールについての検討。(ex.本社から支店への直接指示を原則禁止、発出日・時間帯の設定等)

○改善提案、意見要望等のシステム化

社員の声や提案を積極的に経営に取入れる為、支店からの改善提案や意見・要望等について、クラウドシステムにより、吸上げる仕組みやアイデアの蓄積を容易に横展開出来るシステムの構築。

④ エキスパート社員の削減

- ① 平成24年度のエキスパート契約社員については、原則として営業及び研修関係に限り雇用する事とするが、真に支店サポートとなるような場合には、その他の業務に従事させる事も可能。又、雇用者数については、現雇用者数に本年度末の支店長定年退職者数を加えた約600人の半数の300人以下とし、残り300人程度は高齢再雇用社員として雇用する。さらに報酬についても削減する事としている。
- ② これらの措置により、支社雇用であるエキスパート契約社員数は300人程度となる為、人件費削減、販売管理費削減となる。



| | | |
|---------------------|------------------------|---------------|
| 日 刊 JP 新東京 | No.8 5 1 | 2012年3月30日(金) |
| | 日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部 | |
| | 03-5606-6784 | 内線 4353 |

退職者のみなさん 長い間お疲れ様でした

3月31日、定年退職者29名、勸奨退職者1名、再雇用の終了者35名、多くの組合員・先輩達が退職を迎え、職場の第一線から退くこととなります。

昨年3月11日に発生した大地震により、東北地方を中心としてたくさんの命が奪われ、いまだに消息がわからないままの人、避難所生活を余儀なくされている人がたくさんいます。われわれの仲間もかなりの被害にあいました。心よりお見舞い申しあげます。

退職されるみなさんにとって、長い郵便人生の中で、いろいろ思い出すことはあると思いますが、最後の1年に入ろうという3月にあのような大震災が起こり、忘れられない退職となるに違いありません。

今年退職される方達は、郵政労働運動を中心となって作り出してきた世代でもあります。

永きにわたり、仕事・組合活動へのご尽力とご協力、そして多くのご指導・ご鞭撻に感謝申し上げます。

健康第一で、あらたな第二の人生を楽しんでください。

J P 労組新東京支部執行部一同

2012年3月31日退職者のみなさん 長い間お疲れ様でした

定年退職者

| | | | |
|-------------|----------|----------|----------|
| 第1輸送分会 | 秋山 巖さん | 羽田分会 | 岩崎 省二さん |
| 第1輸送分会 | 阿部 隆さん | 第1普通郵便分会 | 青木 繁さん |
| 第1輸送分会 | 筒井 友幸さん | 第1普通郵便分会 | 阿部 員也さん |
| 第1輸送分会 | 福田 孝央さん | 第1普通郵便分会 | 平野 勝さん |
| 第1・2ゆうパック分会 | 小野塚 清さん | 第2普通郵便分会 | 足達 喜信さん |
| 第1・2ゆうパック分会 | 戸井田喜久雄さん | 第1特殊郵便分会 | 海老沢 義郎さん |
| 第1・2ゆうパック分会 | 鶴町 重夫さん | 第1特殊郵便分会 | 小林 弘和さん |
| 第1・2ゆうパック分会 | 真壁 宏克さん | 第1特殊郵便分会 | 別府 一憲さん |
| 第3ゆうパック分会 | 三嶋 賢一さん | 第1特殊郵便分会 | 森田 昭彦さん |
| 第3ゆうパック分会 | 木村 昇さん | 第2特殊郵便分会 | 小川 信一さん |
| 第3ゆうパック分会 | 海老沼 茂さん | 第2特殊郵便分会 | 栗原 巳喜雄さん |
| 第3ゆうパック分会 | 大谷 正治さん | 第2特殊郵便分会 | 佐々木 幹夫さん |
| 窓口分会 | 鶴濱 善晴さん | 第2特殊郵便分会 | 岩川 幸彦さん |
| 窓口分会 | 葛城 眞一さん | 業務企画分会 | 矢野 和喜さん |
| 郵便企画分会 | 高藤 則夫さん | | |

再雇用終了退職者

| | | | |
|-------------|----------|----------|----------|
| 第1輸送分会 | 横山 敏夫さん | 羽田分会 | 和泉 賢治郎さん |
| 第1輸送分会 | 市原 治夫さん | 第1普通郵便分会 | 今村 光之さん |
| 第1輸送分会 | 笹本 直樹さん | 第1普通郵便分会 | 玉造 昭さん |
| 第1輸送分会 | 豊嶋 實男さん | 第1普通郵便分会 | 本間 昭雄さん |
| 第1輸送分会 | 谷中 晶さん | 第1普通郵便分会 | 千葉 吉彦さん |
| 第1輸送分会 | 伊藤 元英さん | 第2普通郵便分会 | 増田 美文さん |
| 第1輸送分会 | 藤田 禧代志さん | 第2普通郵便分会 | 佐藤 吉時さん |
| 第1輸送分会 | 村松 利夫さん | 第2普通郵便分会 | 川根 文夫さん |
| 第1輸送分会 | 神原 治男さん | 第2普通郵便分会 | 今泉 晴夫さん |
| 第1輸送分会 | 佐藤 三四郎さん | 第2普通郵便分会 | 寺門 常夫さん |
| 第1輸送分会 | 田村 信一さん | 第1特殊郵便分会 | 鈴木 光政さん |
| 第1輸送分会 | 桑名 洋さん | 第1特殊郵便分会 | 菅原 啓さん |
| 第1・2ゆうパック分会 | 浅野 良一さん | 第1特殊郵便分会 | 野上 重夫さん |
| 第3ゆうパック分会 | 桃原 秀夫さん | 第1特殊郵便分会 | 相浦 道雄さん |
| 第3ゆうパック分会 | 藤井 伸一さん | 第1特殊郵便分会 | 武井 清さん |
| 第3ゆうパック分会 | 福元 照男さん | 第1特殊郵便分会 | 峯岸 孝さん |
| 第3ゆうパック分会 | 長山 三郎さん | 第1特殊郵便分会 | 佐藤 仲三郎さん |
| 第3ゆうパック分会 | 菊池 弘さん | | |

勸奨退職者

| | |
|----------|-----------|
| 第2普通郵便分会 | 長谷川 不二男さん |
|----------|-----------|